

【視察先2】 村岡 弦 氏

1. 就農までの経緯

東松島市矢本生まれ。高校卒業後、建設の仕事に従事していたが、業界に限界を感じていた。そんな時、友人の話から、「おもしろそう！ お金になりそう！」と思ってイグナルファームに入社（2016年7月頃）。農業未経験だったが、入社後、すぐに独立宣言し入社3ヶ月後の本採用時から、キュウリ部門を担当。上司の指導のもとで、20aのハウスを任された。選別以外は全て1人で作業を行い…通常は最低でも2人は必要と言われている…農業技術を身につけた。

そして、就農して約2年となる平成30年9月、星場にある6連棟のハウス1,776㎡で独立就農した。



イグナルファーム佐藤社長談

村岡さんは、技術修得の意欲が高く、伸びが速かった。会社の本心から言えば、残ってもらえたらありがたい存在であった。経営面については、これからが勉強本番となると思うが、応援している。

2. 独立までの経緯



9月のハウス内部

独立の際、イグナルさんが借りていた農地とハウスを所有者から、直接、借りる手続きをした。機械類については、イグナルさんとレンタル契約を行い、他に軽トラック、苗、肥料の購入など、初期費用として350万円を借り入れた。

販売は、イグナルさんか農協と考えている。基本的に作業は1人でを行い、最初の収穫出荷は10月中頃の見込み。

選別は、家族の手も借り、ハウスまたは自宅で行うつもりである。

3. 農業の面白さについて

農業は奥が深く、極めがいがあるところが面白い。毎年、天候など自然条件が変わる中で栽培するため、同じ作業が効かないことが多いが、それに対応して、手を掛けた分だけ応えてくれる。

トマトやネギが決められた一定のルールでの栽培であるのに対して、キュウリは、やり方が人それぞれでセンスが問われる作目だと感じ、「これは儲かる！」とキュウリを選んだ。

一番のやりがいは…

「頑張ったら頑張った分だけ収穫につながる。努力を裏切らないところ」

毎日の観察からくる気づき、栽培の工夫など小さい技術の積み重ねが収量の差となって表れる。きついけれど頑張りは金になる。